

2025 4.25—9.7

|FRI| — |SUN|

This exhibition has two installations. All artworks will be changed between the two installations.

Part I: April 25—June 29, 2025 **Part II:** July 1—September 7, 2025

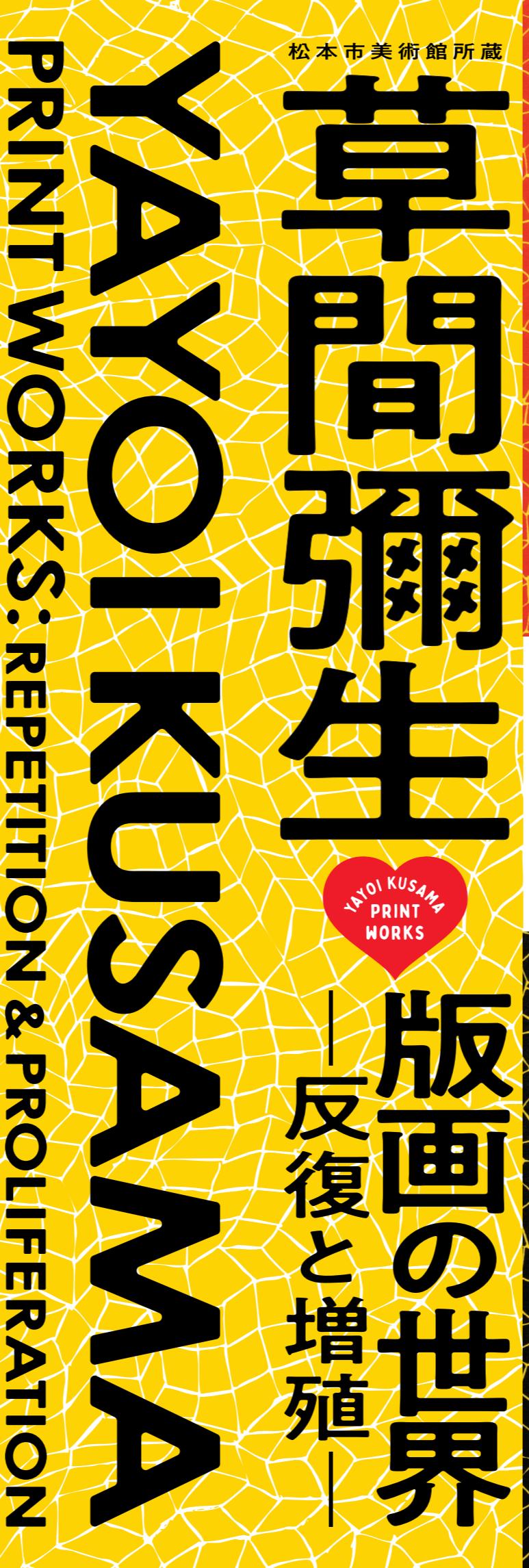
Closed on ——— Mondays (except April 28, May 5, July 21, August 11)

Opening Hours — 10:00—18:00 (Last Admission 17:30)



《南瓜》Pumpkin(部分) 1984年 ©YAYOI KUSAMA

Kyoto City KYOCERA Museum of Art | Higashiyama Cube



2025 4.25—9.7

|FRI| — |SUN|

前後期作品全点入れ替え！ 前期：4月25日|金|—6月29日|日| 後期：7月1日|火|—9月7日|日|

休館日 —— 月曜日(ただし4/28、5/5、7/21、8/11は開館)

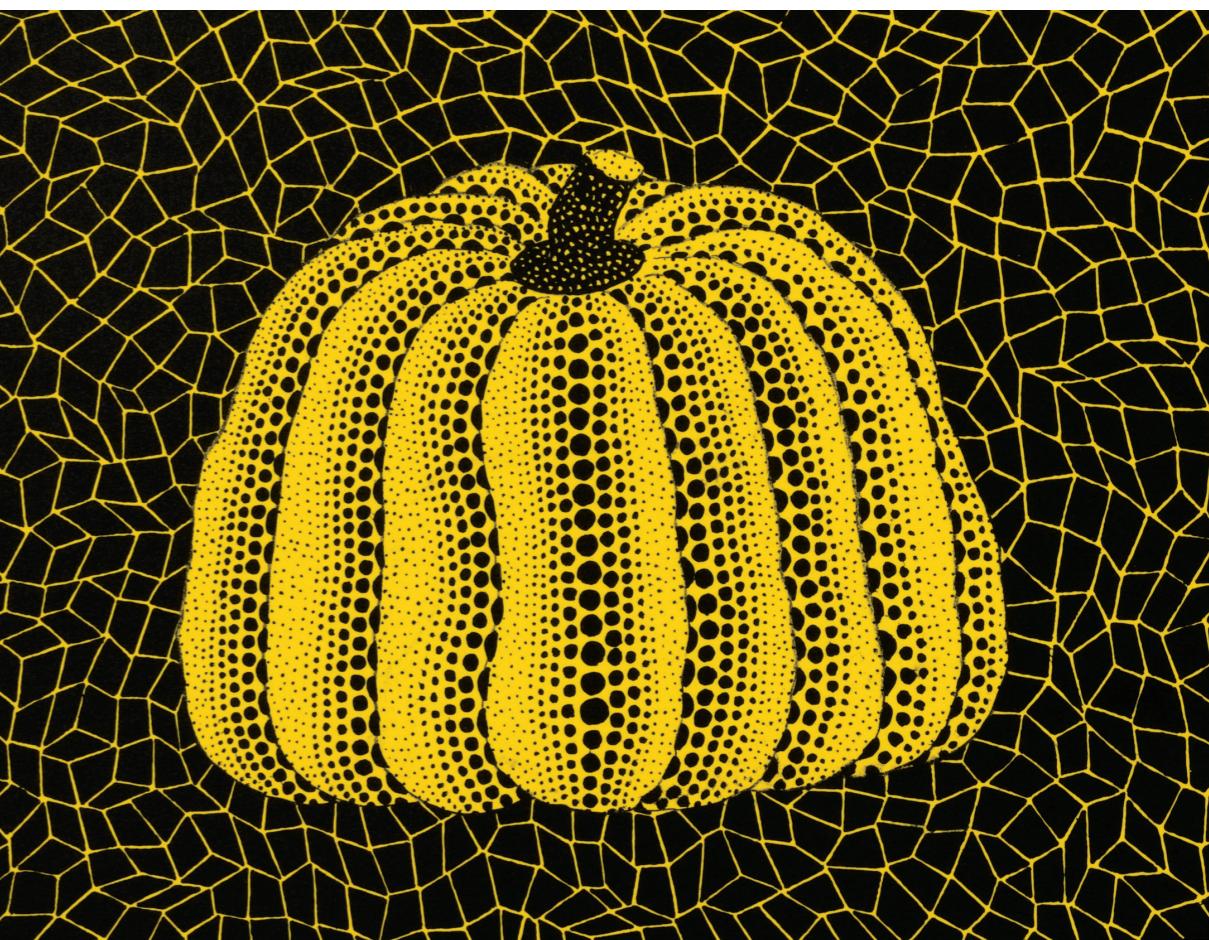
開館時間 —— 10:00—18:00(最終入場は17:30まで)

|主催|朝日新聞社、朝日放送テレビ、京都新聞、京都市 |特別協力|松本市美術館 |協力|株式会社草間彌生 |協賛|阿部出版株式会社



展覧会公式サイト
Official Website

京都市京セラ美術館 | 新館 東山キューブ

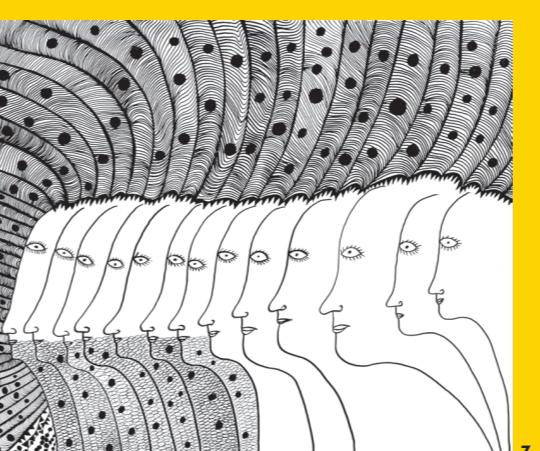
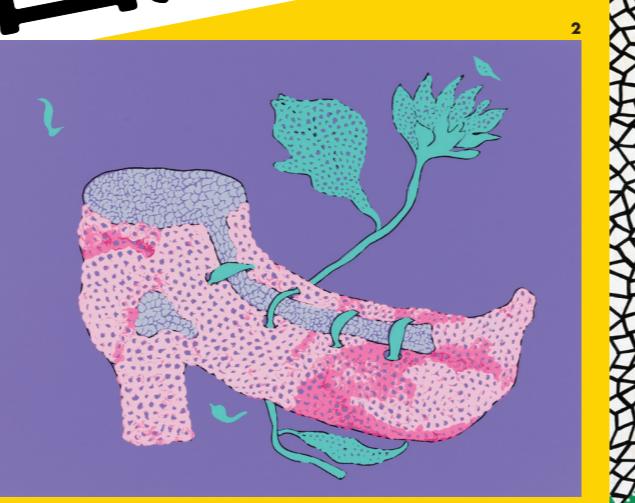
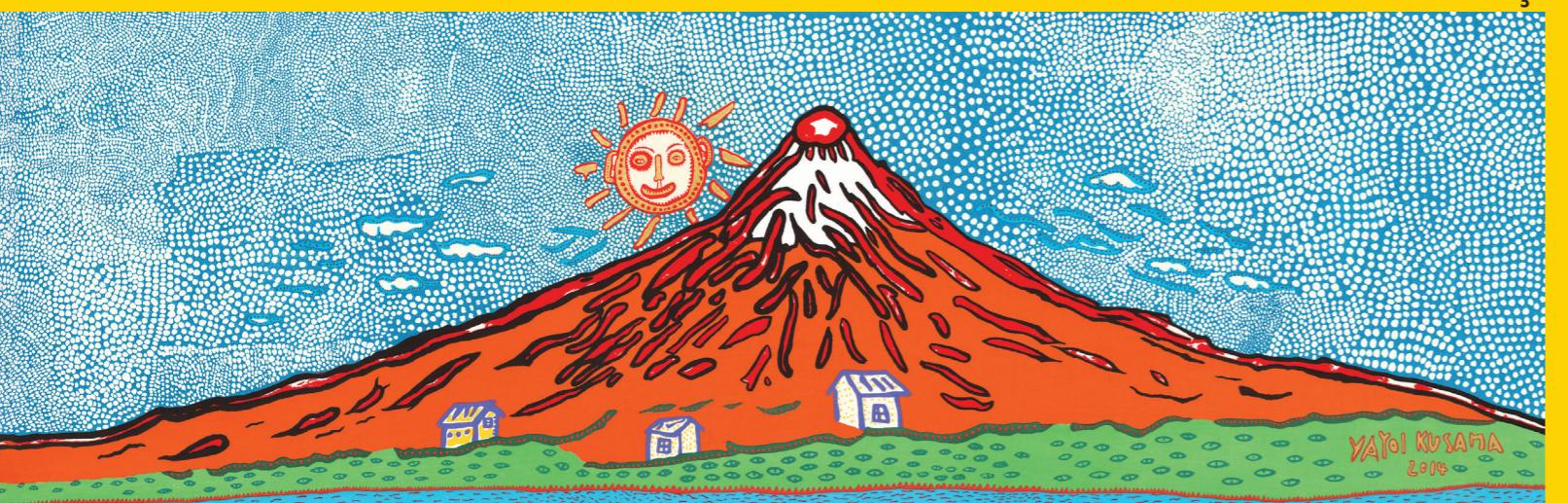
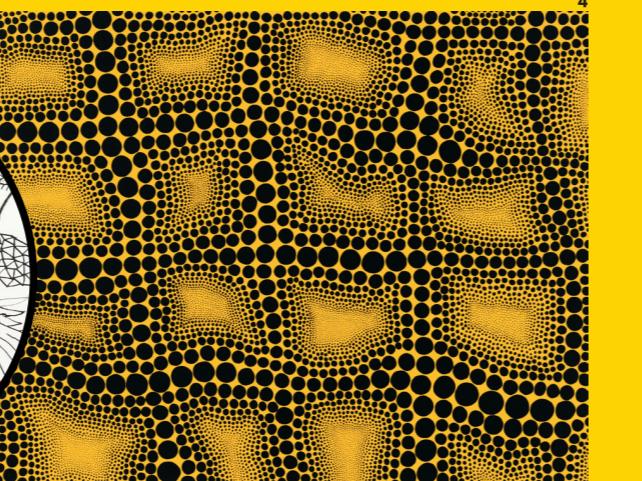


草間彌生、初の大規模版画展!



YAYOI 草間彌生 KUSAMA

前衛芸術家、小説家。1929年、長野県松本市生まれ。幼少期から水玉や網目を描く。1957年に渡米、ニューヨークを拠点にネット・ペインティング、ソフト・スカルプチャー、鏡や電飾を用いた革新的なインスタレーション作品を発表。1973年に帰国後、美術制作に加え詩や小説の文筆活動も行う。代表作に「無限の網」、「南瓜」、「わが永遠の魂」シリーズなど。2016年文化勲章受章。2017年「草間彌生美術館」開館。



入場料金(税込)

一般 2,200円 大学・高校生 1,400円 中・小学生 600円 ペアチケット 4,000円

前売・団体券 2,000円 1,200円 500円 3,800円

*未就学児無料(要保護者同伴) *団体料金は20名以上

*障害者手帳等ご提示の方は本人及び介護者1名無料(障害者手帳等確認できるものをご持参ください)

*前売券販売期間:2月28日(金)10:00~4月24日(木)23:59

*販売場所:美術館公式オンラインチケット、展覧会オンラインチケット、アソビュ!、ローソンチケット(Lコード:51513)、チケットぴあ(Pコード:687-155)、ABCぴあ、e+(イーフラス)、CNプレイガイド、セブンチケット(セブンコード:108-979)、ARTPASS、京都新聞文化センターほか

|ペアチケット| 一般入場券2枚のお得なセット券です。

2名でご来場ならびに1名で2回ご来場の場合でもご利用いただけます。

*ペアチケットは美術館チケットカウンター、一部プレイガイドでは販売いたしません。

|グッズ付きチケット| 当日一般 3,200円(前売り3,000円)

絹を素材にした京友禅職人による手染めのスマホ拭き

「おふきmini」が付いたお得なセット券です。

*販売場所:全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機もしくはセブンチケットWebサイト

*予定数量に達し次第、販売を終了する場合があります。

*引換場所:ご来場当日、会場グッズ引換窓口でお引換ください。

図録・グッズ

展覧会公式図録 3,000円

表紙は、出品作品「南瓜」と同様の4色展開。

*お好きな色をお選びいただけます。※4種類とも中面は同内容となります。

展覧会オリジナルグッズ

ノート:1,980円 トートバッグ:4,950円

*価格はいずれも税込み。

*会期中の販売状況により図録各色表紙ならびにグッズは品切れとなる場合があります。



京都府立
京セラ美術館
Kyoto City KYOCERA Museum of Art

世界的前衛芸術家・草間彌生の版画の世界に焦点をあてた展覧会です。網目や水玉の増殖が創作活動の根幹にある草間にとて、複製芸術である版画との出会いは必然的と言えます。1970年代後半から積極的に取り組み続けてきた版画制作は、現在の評価につながる大きな原動力となりました。本展覧会では南瓜やドレス、帽子など華やかなモチーフが多く登場する初期作品から、近年の木版画による富士山の連作、代表作「愛はとこしえ」シリーズまでを一挙公開。世界最大級の草間コレクションを誇る故郷・長野県の松本市美術館が所蔵する作品に作家蔵を加えた約330点で草間彌生の版画芸術の魅力と軌跡を展覧します。

世界最大級のコレクションから、総数約330点が京都に集結!

This exhibition aims to spotlight the world-renowned avant-garde artist Yayoi Kusama's world of printworks. Kusama, whose creative activities are rooted in the proliferation of nets and polka dots, was inevitably introduced to printmaking, the art of reproduction, and has been actively engaged in printmaking since the late 1970s, a major driving force behind her current reputation. This exhibition will showcase Kusama's early works featuring pumpkins, dresses, hats, and other specific motifs, her recent woodblock print series of Mt. Fuji, and her signature work, Love Forever. The exhibition will feature approximately 330 works from the Matsumoto City Museum of Art in Nagano Prefecture, her hometown, which boasts the world's most extensive Kusama collection, as well as from the artist's collection, to showcase the appeal and trajectory of Yayoi Kusama's printworks.

1.《こんにちは》Hello! 1989年【前期展示】、2.《靴をはいて野にゆこう》Going to the Field with Shoes On 1979年【後期展示】、3.《帽子(II)》Hat (II) 2000年【後期展示】、4.《町》Town 1999年【前期展示】、5.《生命は限りもなく、宇宙に燃え上がって行く時》When Life Boundlessly Flares Up to the Universe 2014年【後期展示】、6.《ドレス》Dress 1982年【後期展示】、7.《朝のかがやき》(TWHIOW) Morning Splendor (TWHIOW) 2007年【前期展示】 すべて松本市美術館蔵 ©YAYOI KUSAMA ※作品名を《日本語》英語 の順に記載

関連イベント

記念講演会「前衛芸術家・草間彌生 創作の軌跡」

講師:渋田見 彰 氏(松本市美術館 美術担当係長) 日時:4月26日(土)15:00~16:30
会場:美術館講演室 定員:130名

*先着順、会期中の観覧券が必要

*参加費無料

草間彌生カブトをかぶって会場へ! 5月1日(木)~5日(月・祝)

5月1日付京都新聞朝刊掲載の

「草間彌生 版画の世界」紙面を使って「草間彌生カブト」を折ろう!

「草間彌生カブト」持参のお子さま(小学生以下)は

上記の期間中無料で入場いただけます。

*要保護者同伴(同伴者は別途入場券が必要です)

*カブト1個につき1名分料金を対象

*年齢確認をお願いする場合がございます

このほか会期中にギャラリートークなどを予定しています。

詳しくは展覧会公式サイトをご覧ください。



※画像はイメージです

音声ガイド

草間彌生本人の肉声を特別収録

ナレーション:羽多野 涉(声優) 貸出料金:1台650円(税込み、会場レンタル版)
音声ガイドには草間彌生本人による自作の詩の朗読、詩に自らの曲をつけ歌うトラックなども収録。充実の内容で、草間ワールドを耳から体感できます。

アクセス

●電車:地下鉄東西線「東山駅」より徒歩約8分。京阪電鉄「三条駅」、地下鉄東西線「三条京阪駅」より徒歩約16分
●バス:「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ

